

(1) 実践内容

- 学年 6年
- 単元名 「何になりたい? What do you want to be?」
- コミュニカティブな英語を目指した手立て

6年生になり、小学校生活最後の節目の年を迎えた。3月には一周り大きくなって中学校に向かい、はばたいていく。そして、自分なりの夢をもち、一步一步その実現のために歩いていく。一方、将来の夢を聞かれて答えられない子が年々増えているという。本校でも、将来の夢をこたえられない子がいる。働ければ何でもいいという考えでなく、いろいろな職業に興味をもち、将来の自分の姿を思い描いてほしいと考え、有名人の子どもの頃の夢を紹介したり、世界の子供たちに目を向けたりするような単元計画を立てた。そして、職業を表す単語も「Hi, friends!」のものだけでなく、子供達に事前にアンケートを取り、本当の自分の思いを表現できるようにした。

- 英語を媒介としてコミュニケーションを成立させるための手立て

① ミニゲームの活用

新しい単語を使えることが、自信をもって友達とかかわることにつながると考える。メモリーゲーム、ミッシングゲーム、キーワードゲームなどを用いてゲームを楽しみながら、自然に英語に慣れ親しみ、聞いたり発音したりできるようにする。また、職業を想起する場では、職業の提示だけでなく、有名人の子供のころの写真や職業に関連する道具などを用いたクイズを出題し、知的好奇心をくすぐる活動も組み入れ、意欲をもたせる。

② スモールステップを踏んだフレーズの練習

新しいフレーズや単語を使って、自信をもって友達とかかわるためには、フレーズを繰り返し練習することが必要である。ゲームやいろいろなチャンツの手法を取り入れ、“Repeat after me.”だけでなく、教師と子ども、子ども同士、リレー形式、グループでの練習など、パターンを変えてより多く発音する機会を設ける。

③ 理由の答え方の図化

子どもたちは本単元で初めて理由を尋ね、答える活動をする。尋ねるのは“Why?”と簡単だが、答え方は様々な言い方がある。本来なら“Because~”で答えるが、小学校の段階では強要せず、答え方の代表的なフレーズを提示し、少しでも抵抗感なく、答えやすくなるようにした。

④ 分からないことを聞き返す心、伝えようとする心を育てる

会話をしていると、友達の言ったことが分からないこともある。そんなときには、臆さず聞き返したり、分からない表情をしたりすることが大事であることを教えたい。日本人は分からないとき、分かったふりをしたり微笑んでごまかしたりすることが多く、それが原因でトラブルも起こるということを伝える。

友達が分からないという意思表示をしたときには、ゆっくり繰り返したり、ジェスチャーで何とか伝えようとしたり、分からないことを聞き返す心、何とかして伝えようとする心をさらに育てていく。

- 単元計画 (6時間)

学 習 活 動	教師の留意点・評価 (○留意点・◇評価)	時数
1 この人、だれ? Who is this? He is ○○. What is his occupation? ・ 歴史上の人物や現在活躍している人の職業に目を向けて職業の言い方を知り練習をする。	○ 有名なスポーツ選手の写真や偉人の絵を見せたり、仕事場の絵、職業にちなんだ物の絵を用意したりして、職業の言い方に興味をもたせる。 ◇ 職業を表す単語について日本語と英語の共通点に気付くことができる。(気づき)	1

<p>2 <英語タイム15>この職業、何て言うの？</p> <ul style="list-style-type: none"> カルタゲーム、ビンゴゲーム、メモリーゲーム、ミッシングゲーム、キーワードゲームなどで職業に親しむ。 	<p>○ 楽しみながら職業を聞いたり発音したりするために、ミニゲームをテンポよく行う。</p> <p>◇ 職業を表す単語について日本語と英語の共通点に気付くことができる。(気付き)</p>	1/3
<p>3 職業の言い方にふれよう</p> <ul style="list-style-type: none"> カルタゲーム、ビンゴゲーム、メモリーゲーム、ミッシングゲーム、キーワードゲームなどで職業に親しむ。 	<p>○ 前時で扱った職業の言い方に慣れ親しませるために、ミニゲームを行う。</p> <p>◇ チャンツやミニゲームを通して、職業の単語に慣れ親しむことができたか。(慣れ親しみ)</p>	1
<p>4 <英語タイム15> 尋ね方・答え方をリズムののって言うてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の夢を尋ねたり答えたりする言い方をチャンツに乗って言い、フレーズに親しむ。 	<p>○ インタビュー活動に備えるため、次時で扱うフレーズのチャンツを聞いたり、言ったりして、フレーズに親しませる。</p> <p>◇ チャンツやミニゲームを通して、職業の単語に慣れ親しむことができたか。(慣れ親しみ)</p>	1/3
<p>5 何になりたい？</p> <p>A : What do you want to be?</p> <p>B : I want to be a ○○.</p>	<p>○ 6語からなる尋ね方・答え方のフレーズに慣れさせるため、スモールステップでフレーズの練習をする。</p> <p>◇ なりたい職業の尋ね方・答え方を使い、友達とかかわろうとしたか。(関・意・態)</p>	1
<p>6 <英語タイム15> 理由の言い方を知ろう</p> <p>I like ○○./I want to ○○.</p>	<p>○ 理由を伝えるにはいくつかの言い方があることをとらえさせるため、Hi、friends!を使う。</p>	1/3
<p>7 なりたい職業の理由は何？</p> <p>A : What do you want to be?</p> <p>B : I want to be a ○○.</p> <p>A : Why?</p> <p>B : I like ○○./I want to ○○.</p> <ul style="list-style-type: none"> なりたい職業とその理由をインタビューする。 	<p>○ 様々な職業についての関心をさらに深めるため、また、友達理解を深めるために、なりたい職業の理由をインタビューし合う。</p> <p>◇ なりたい職業の理由の尋ね方・答え方を使い、友達にインタビューする活動を通して、いろいろな考え方があることに気付く。(気付き)</p>	1
<p>8 世界の子どもたちの夢は何？</p> <ul style="list-style-type: none"> 映画を視聴し、その感想を話し合う。 	<p>○ 所変われば、夢も変わるということを理解させるため、様々な国の子どもたちの夢を映画の一部を使って紹介する。</p> <p>◇ 世界にはいろいろな夢をもつ子どもたちがいることに気付いたか。(気付き)</p>	1



職業クイズ



リレー形式でのフレーズ練習



インタビュー活動